

# 上古川神社

(上古川)

祭神 天照大御神、<sup>たけみ な かたがみ</sup>建御名方神、三宝荒神

例祭日 四月十一日

上古川村には、祭神として、伊勢大明神（天照大御神）、<sup>※さんぼうだいこうじん</sup>三宝大荒神、竹森大明神、諏訪大明神（建御名方神）、宮田大明神等十数<sup>ほくら</sup>の祠があった。

嘉永年間（1848～1853）鳥取藩の飯田年平<sup>しゅめい</sup>が主命を受けて藩内を調べ、小祠を廃し、一村一社<sup>すす</sup>を推めた。上古川村は、この時伊勢大明神を上古川神社と改め、諏訪大明神を合祀し、他はすべて廃した。廃神はこれを小鴨神社に祀った。その後、上古川神社境内<sup>しょうし</sup>に小祠を建て、三宝荒神を祀った。

小鴨神社に合祀された時代もあったが、大正元年（1912）8月19日若土神社に合併することを決め、大正4年に合併は完了し、上小鴨神社の氏子となる。昭和3年（1928）上古川集落で再度神社復元の声が高まり、上小鴨神社関係者と協議、社地、氏子は上小鴨神社のままとし、伊勢大明神と諏訪大明神の二神を分神し奉迎することができた。



(注)

三宝荒神：仏、法、僧の三宝を守護する神